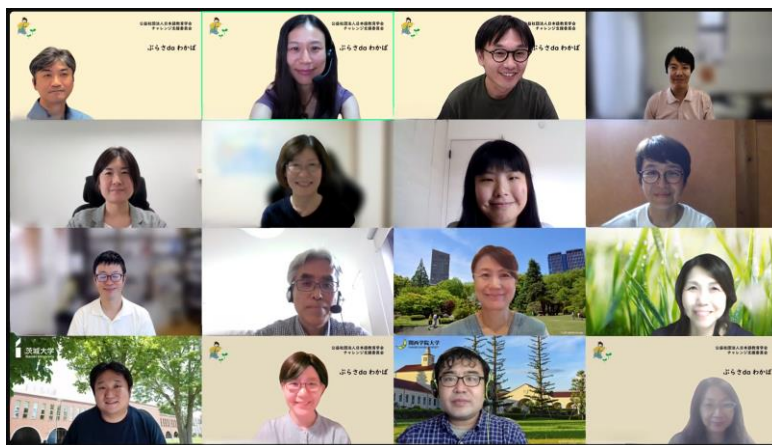


## 「ぷらさ da わかば」 日時：2024/8/31(土) 13:15-14:30

担当：安達万里江・高村めぐみ（文責）・立部文崇・春口淳一・平山允子

2024年度「ぷらさ da わかば」を実施いたしました。日本語教育の世界で「わかば」な人に、先を歩く「センパイ」との対話、交流の機会を提供するこの企画、これまでは大会の中で行っていましたが、本年度より大会の外に飛び出し、オンラインで実施しました。運営に関しては、わかばさん1名の欠席はあったものの、大きなトラブルもなく、スムーズにイベントを行うことができました。



今回は、申し込みをしてくださったわかばさん6名の話したいことについての希望を聞き、それに沿ったセンパイ6名にご依頼し、対話セッションを実施しました。セッションでは、研究や教育、キャリアについての対話が和やかな雰囲気の中で交わされました。40分のセッション後に「もっと話したいタイム」を設けて、対話セッションで話せなかったセンパイとわかばさんが交流できる機会を設けました。いずれも、互いの話に熱心に耳を傾ける様子が見られました。

事後アンケートでは、参加者のみなさまから「とてもよかった」「よかった」という意見をいただきました。特に、わかばさんからは、「センパイの生きた話はとても貴重だった」という声や「いただいた助言を具現化すべく考えていきたい。また助言がもらいたい。」という声があり、わかばさんにとってセンパイと話したことが有意義だったことが窺えました。また、「日本語学校にとどまらず、自分の経験を生かしてチャレンジできるとわかった。」というコメントや、「今回の対話で地域の日本語について知識を深めることができました。」というコメントから、今後、わかばさんがキャリアを積むのに有益な情報を提供できたことも窺えました。一方で、当日急病のため、わかばさんが欠席し、ご協力いただいたセンパイとペアが組めなくなるということが起こりました。このような事態は今後もあり得るため、予想外のことが起きてもフレキシブルに動けるシステムを作ることが必要だと感じました。貴重な時間を割いて、「ぷらさ da わかば」に協力して下さる方々にとっても実りある時間となるよう、運営体制を整えていきたいと考えます。

今回、大会から独立したイベントとして初めて実施しましたが、参加者の満足度が高いため、来年度もこの形式を踏襲していきたいと考えています。その上で、変更すべきところは積極的に変えていきたいです。委員一同、より多くの方に参加がしやすく、充実した対話が行える場を提供していきたいと考えています。引き続き、本企画へのご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。